

玉島地区では、「玉島のこれからのまちづくりを考える」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和5年10月15日(日)に開催した第2回のワークショップでは、4つのグループに分かれてワークを行いました。

ワーク1 前回のふりかえりと自己紹介ワーク

ワーク1では、第2回目からご参加の方もいらっしゃったため、前回のふりかえりからスタートしました。前回は、玉島地区の「いいところ」、「気になるところ」、「こうなってほしい」、「こうなると嫌だな」という観点で話し合いを行いました。魅力や課題についてたくさんの意見を出し、参加者の方が共通して感じていることや、世代や所属組織により、異なる視点があることが確認されました。自己紹介では、①お名前②ご所属の地域組織③前回の感想もしくは、今のお気持ち④今回の話し合いのテーマを紹介し合い、前回とテーブルのメンバーが入れ替わっていたところは、新しい出会いの時間となりました。



第2回 実施概要

日 時: 2023.10.15(日)

14:00~16:00

会 場: 玉島公民館

参加者数: 24 人

プログラム

- 1: 会長挨拶
- 2: ワークショップ趣旨説明
- 3: 前回のふりかえり
- 4: 参加者自己紹介
- 5: ワーク: 話したいテーマを選び、グループで話し合い
- 6: グループ発表(全体共有)

ワーク2 玉島地区の気になるテーマを深めよう

自己紹介後のワークでは、前回の話し合いで出された意見から「地域全体で行事や取組を無理なく実施していくには?」、「これからも子どもたちがのびのびと育つために、地域ができることは?」、「若い世代の力を地域につなげ、生かすためにできることは?」、「いざという時のために、日頃から地域で声をかけ合う関係を築くには?」という4つのテーマからそれぞれのグループで話し合いたいテーマを2つ選んで現状や工夫のアイデアを出し合いました。結果として以下のような多様な意見が出てきました。

① 地域全体で行事や取組を無理なく実施していくには?	
現状	工夫
・行事の準備が大変	・ひとりひとりの役割を小さくする ・行事の目的や内容を見直すアンケートをとる
・転入者にとっては地域の行事がわからない ・地域の情報を得る機会がない	・回覧板の情報をLINEで共有する仕組み ・自治会に加入したい人がネット申し込みできるようにする
・掲示板でのお知らせは見る人、見ない人にわかれる	・発信内容や媒体の工夫 ・小中学校の連絡システムで地域のことを発信
② これからも子どもたちがのびのびと育つために、地域ができることは?	
現状	工夫
・自治会や子ども会に入っていないけれど、地域行事に参加したいと思っている子どもたちがいる	・自治会(町内)、子ども会の加入/未加入をこえて、地域行事に参加できる仕組み
・こどもの時に地域での活動参加経験がなく、地域の良さを感じにくい ・核家族で多世代のつながりや地域の人との交流が少ない子どもが増えている	・子どもが企画運営できるイベント実施 ・子どもが地域について話す子ども会議の実施
③ 若い世代の力を地域につなげ、生かすためにできることは?	
現状	工夫
・共働き世帯や若い世代は、地域の会議に時間が合わず、出席しにくい	・自治会のオンライン会議の実施 ・働いている世代に合わせた会議などの時間設定
・家族との時間も大事にしたい ・休みの日はゆっくりしたい	・地域の会議の効率化や回数の見直し
・地域活動で若い人向けの企画や取組が少ない?	・若い人が興味のあるイベントを行う ・Eスポーツ大会
④ いざという時のために、日頃から地域で声をかけ合う関係を築くには?	
現状	工夫
・地震や洪水が発生したとき、どこに問い合わせるのか疑問。どこかの情報を頼りにするのか。	・防災に関する情報を協議会のHPで更新 ・LINEで情報を共有できる仕組み
・地域に関わりたくない人も多い ・自治会がないエリアがある	・行事後の打ち上げ ・自治会、町内や隣近所での楽しい催しを増やす

次回ワークショップは11月5日(日)。これからの取組について、具体的に話していくワークショップを行います。